



== 中央委員会 ==

2月27日、大阪市教育会館東館にて第421回中央委員会が開催されました。議長に高岸中央委員（南部支部）と大園中央委員（西部支部）が選出され、議事がすすめられました。松岡委員長は冒頭の挨拶で、万博招待事業について、学校現場では依然として不安が払拭されていないことから2月21日に今年度2度目の申し入れを行ったこと、2月3日の年間交渉で回答があった「子の看護休暇」の取得事由拡大については不十分であるとし、更なる拡充を求めて教育委員会に要求書を提出したことが報告されました。また、今国会で審議される給特法・学校教育法の改正案について問題点を説明し、慎重に交渉・協議をすすめていくと述べられました。

続いて執行部より「当面の闘争推進に関する件」「2024年度一般会計更生予算及び特別会計の支出に関する件」「2025年度4・5月分組合費に関する件」「2025年度一般会計4・5月分暫定予算」が提案されました。質疑では、万博の下見について、通訳者が必要な児童・保護者の急増について、校務系PCの起動の遅さについて質問がありました。討論には、4人が参加し、支部や専門部、本部の取り組みや感想が報告されました。採決では原案が圧倒的多数の賛成により可決・承認されました。（討論内容は右側）



中世古中央委員（北部支部） 1月25日、北部支部シン☆元気アップフェスタを開催しました。11分会から参加があり、お子さん連れも数人いました。この会場の良いところは遊べるゲームがたくさんあること。子どもと一緒に遊んでくれた参加者もいて、大人同士でゆっくり交流する時間も確保できました。子どもも大人も楽しい時間を過ごすことができたこの取り組みを次年度も継続していきたい。

宮尾中央委員（事務職員部） 2月10日、事務職員部交渉を行った。学校事務職員の時間外勤務が増加傾向にあることに対し、要因分析や時間外削減に向けた対応を求めた。システム再編成については、現在の進捗状況や今後のスケジュールなどを示させた。共同学校事務室が全市実施となったが、欠員状況を補填するためのものであってはならない。人材確保や業務量に見合った配置について追及した。

大岸中央委員（東部支部） 2月8日、ウトロのフィールドワークに参加しました。普段、あまり関わる事のないソンセンニムと交流でき、とても有意義な1日でした。印象に残ったのは放火した青年に対する地区の人々の思い。恨みつらみを言うだけでなく、青年の家庭背景を知り、思いやる発言もあったとのこと。差別されてきたからこそ、相手のことを思いやる心を持った方々なのだと感じました。

戸田中央委員（女性部） 2月1日、西成区民Cでいっしょにふえすた2025を開催しました。ゲストの大塚珠代さんの紙芝居は手作り、「読む」のではなく自分の言葉で語り、観客は一瞬にして魅了されました。少しだけめくってクイズを出したり、一気にめくって引きつけたりとプロの技を見せていただいた。デジタルが主流になりつつある今、アナログの良さをあらためて感じました。



/// 養護教員部交流学習会 ///

2月15日、滋賀「ピアザ淡海」にて、日教組近畿ブロック養護教員部交流学習会が開催されました。日教組養護教員部長から中央情勢の報告があり、午後から講演として「学校『性教育』の再定義」、びわここんどーむプロジェクト代表の清水美春さん（元滋賀県高校教員）のお話を聞きました。清水さんは、高校を中心に生徒への性教育の講演をされています。教員時代に青年海外協力隊でケニアに行き、日本とは全く違う文化に触れ、宗教観や考え方の違いに驚かれました。「自分の心のままに生きるための学び」「誰かがコントロールすることはできない」「性感染症の予防方法は教えられる」「その後はあなたが決める」等、対話しながら相手とのコミュニケーションをとることや、実際にコンドームを配ってペア学習で装着の練習をすることなどを教えられています。この講演を聞いた中・高校生に「この講演はいつ学ぶといいか」と問うと「中学1年生」と答える回答が一番多かったそうです。学習指導要領の歯止め規定があるので「学校ではできない」とありますが、それが本当の理由なのでしょうか？ いまを生きる生徒のニーズを考えると、一番の課題は「学校・保護者・地域」の大人たちの共通理解ではないかとまとめられました。晴天に恵まれた琵琶湖の美しい風景の下、とても有意義な時間を過ごしました。

～ 国際連帯カンパの御礼 ～

12月に行いました国際連帯カンパについて、1月に入ってからも分会から振り込みがあり、最終的に84,114円のカンパが集まりました。大阪教組を通じて、支援を必要としている世界各国の子どもたちのサポートに取り組んでいる団体と、リバティおおさかの人権資料保存・管理のために使っていただきます。カンパへのご協力ありがとうございました。

広報部メモ

年度末、人事異動の季節がやってきました。誰にとっても、新しい勤務地への異動は不安が伴います。私も異動の際はそうでした。誰も知っている人がいない場合もあります。そんな時、同じ組合に所属する仲間から声をかけてもらえてほっとしたことがありました。次は自分が安心させる番です。校内の分会体制を整え、新しい仲間を温かく迎えたいです。（M）

4月の組合費の引き落としは

4月21日(月)

※働きがいのある職場を実現
するため、なかまの声かけて
組合員を増やしましょう！

〇〇〇 栄養教職員部 親睦交流会 〇〇〇

2月21日(金)に栄養教職員部で親睦交流会を開催しました。

給食室の老朽化、食物アレルギー対応のシステム化、個別指導についてなど、各々の悩みや考えを話し合うことができました。来年度、栄養教諭に採用が決まった方たちからは、その喜びと不安をみんなで共有しました。

また、今年度、ご退職される方々は、これまで長きに渡り栄養教職員部の活動にご尽力いただき、私たちを支えてくださったことに心より感謝を申し上げます。これまで築いてこられたことを引き継いで、今後も結束を強めていきたいと、あらためて思う会となりました。



一般財団法人 大阪市教育会館 70周年

3月1日、大阪市教育会館創立70周年記念式典と新「大阪市教育会館」の落成式が行われました。福山教育監をはじめ幼・小・中の園長会・校長会の会長、市PTA協議会会長など、多くの来賓にご参列いただきました。1950年、教員に対して支給されていた共同研究費から皆が毎月100円ずつ拠出し、旧被服支廠跡地の払い下げを受け、大阪市教員会館を建設しました。1953年に財団法人大阪市教員会館が創立され、会館事業を開始しました。以来、「大阪市民及び、大阪市教職員ならびに、教育関係者の教養を高め、研究を助

成し、生活と福祉の増進をはかる等、大阪市の教育を向上せしめ、以て社会文化の発展に寄与することを目的とする」の理念の下、運営されてきました。本来ならば2023年度に70周年の式典を行うところでしたが、教育会館の建て替えが決まっていたので、落成式と同時に開催されることとなりました。



4月・5月の主な日程

- 4月 17日 北部支部評議員会 18:15 総合生涯学習C
- 17日 西部支部評議員会 18:30 西成区民C
- 19日 4. 19 憲法を考える集会 14:00 PLP会館5F
- 22日 南部支部評議員会 18:30 大阪市社会福祉C
- 23日 東部支部評議員会 18:15 エルおおさか
- 5月 1日 メーデー 10:00 大阪城公園太陽の広場
- 3日 憲法集会(予定)
- 10日 事務職員部定期大会 13:30 教育会館東館
- 17日 市教組定期大会

執行部より退任のごあいさつ

松岡 誠 執行委員長 …執行委員1年、書記長通算6年、副執行委員長2年、執行委員長5年務めていただきました。

今年度末をもって執行委員長を退任することになりました。

これまで支えていただいた組合員の皆様をはじめ各関係団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

これまでの市教組の歴史を振り返ってみますと、1989年の連合の発足により、日教組内で共産党系の組合員が脱退し、全日本教職員組合(全教)を立ち上げました。大阪市においても、市教組を脱退した組合員が大阪市学校園教職員組合(市教)を立ち上げるなど、組織分裂が起りました。

2011年に橋下徹氏(大阪維新の会)が大阪市長となり、以降、大阪市において維新市政が続いています。また、橋下市長により、「大阪市労使関係に関する条例」が制定され、第12条で「労働組合に対する便宜供与は行わない。」とされていることから、現在も学校園で分会会議ができない状態が続いています。また、大阪維新の会は、大阪市を廃止し複数の特別区にするとした「大阪都構想」を打ち出し、2015年、2020年の2度に渡って住民投票を行いました。いずれも反対多数で否決されました。

2017年に府費教職員の給与等が大阪府に権限移譲され、以降、給与等も含めた勤務労働条件の交渉相手が大阪府から大阪市(教育委員会)になりました。

市教組は、長い歴史の中で様々な困難に立ち向かい、すべての子どもにより良い教育の推進と組合員の生活と権利をまもるため、精力的に交渉・協議をすすめてきました。

次年度は、三谷委員長、中松書記長をはじめ新執行部により、長時間労働の解消や物価高を超える給与改定、子の看護休暇の適用要件拡大をはじめとする諸権利の拡大に向けて取り組みをすすめてまいりますので、引き続き、市教組への結集をお願いして退任のご挨拶とさせていただきます。

平岡 緩子 執行委員 …執行委員を2年務めていただきました。

女性部長・執行委員として勤めた2年間、貴重な経験ができました。若いころ、「組合は交渉して権利を取ってきてくれるから大切なんだよ」とずっと言われてきたのですが、自分がその場に参加する立場になり、改めて、組合はわたしたち教職員が働きやすいようにみんなの声を聴き、活動してくれていると理解しました。一人で不満を言っているだけでは始まらないから、自分の声を届けてくれる大きな存在の一人になることを、これからの世代の人たちに伝えていきたいです。ありがとうございました。

斎藤 晴美 執行委員 …執行委員を2年務めていただきました。

執行委員として2年間お世話になりました。

体調不良で休職したまま退職することになりご迷惑をおかけしています。市教委交渉や政令指定都市協議会など様々な交渉や会議に参加させていただき勉強させていただきました。要求交渉のための組合の大切さや全国と繋がっていることの素晴らしさを改めて実感することができました。組合を通して学んだことは私の財産です。これまで大変お世話になりました。ありがとうございました。